

研究・調査報告書

報告書番号	担当
313	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名 (原題/訳)	
Influence of body weight on the relationships of alcohol drinking with blood pressure and serum lipids in women. 女性での飲酒と血圧および血清脂質との関連における体重の影響	
執筆者	
Wakabayashi I.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Prev Med. 2009 Nov;49(5):374-9. Epub 2009 Jul 29.	
キーワード	
アルコール、血圧、コレステロール、脂質異常症、高血圧、女性	
要旨	
目的： 女性において体重が習慣的な飲酒と血圧および血清脂質との関連に影響を与えるかを明らかにする。	
方法： 対象者は16,805人の健康な35-54歳の女性で、データは1999年4月から2000年3月の山形県の職場から集められた。対象者は体重の三分位でグループ分けされ、さらに平均エタノール摂取量で3つのサブグループに分けられた【非飲酒者、軽度飲酒者(1日当たり15g未満)、重度飲酒者(1日当たり15g以上)】。	
結果： 体重の第1と第2三分位のグループでは、平均収縮期血圧と拡張期血圧および高い収縮期血圧または拡張期血圧の有病率が、非飲酒者と比べ重度飲酒者で有意に高かった。一方、第3三分位のグループでは、それらの違いが観察されなかった。他方、体重の全ての三分位のグループで、平均血清HDLまたはLDLコレステロールは、非飲酒者と比べ軽度および重度飲酒者でそれぞれ高いまたは低く、低HDLまたは高LDL血症の有病率は非飲酒者と比べ重度飲酒者で有意に低かった。	
結論： 以上の結果は、体重が飲酒の血圧への関連には影響を与えるが、血清HDLとLDLコレステロールには影響を与えなかったことを示唆する。	